



いきいきかわら版仙台支部 第30号

宮城県内では新型コロナウイルスもだいぶ落ち着きつつあるようにも思えますが、まだまだ油断は出来ません。

今月から医療従事者へワクチン接種も始まり、会員の皆様も基礎疾患を持つていなければ、接種を行うことが予防対策になると、医療アドバイザーの先生もおっしゃっております。私たちスタッフも時期が来たらワクチンの接種を行い、皆様への感染リスクを低下させて、サービスをご提供したいと思っております。

2月18日に二十四節気の雨水が過ぎ、3月5日には啓蟄を迎え、いよいよ春本番です。この時期も、天候が大きく変化して体調を崩す方が増えます。

くれぐれも体調管理にはお気を付けて日々をお過ごしください。

2月13日23時08分に宮城県内に震度6強の地震が発生しました。3月11日には東日本大震災発生から10年目となる直前での地震発生。当時の恐怖を改めて、思い出された方もいらつしやると思えます。地球の海底や地中では10年という月日はほんの数秒であると言う科学者もおります。私たちにとっては、10年の歳月も自然界ではほんの僅かな時間の流れということになります。

ですから、今後も同様の地震が起こりうることを頭に入れて日頃より、災害対策を行うことが必要です。

今回は、地震対策を行っていたタンスも倒れたケースがありました。ご自宅でお住いの皆様は、再度、点検をお願い致します。また、施設へ入居されている方は、もう一度、施設管理者の方と災害防止策を相談されて実施するようにお願い致します。また、防災グッズの再点検もお忘れなく。



シニア福祉アドバイザー 潔のワンポイント講座

12月のかわら版では、自立生活の指標となる日常生活動作(ADL)について記載させて頂きました。

今月は、もう少し、詳しい内容をご説明致します。この指標は、包括支援センター経由で介護認定を受けるときにも調査の項目にも採用されている内容です。

日常生活動作(ADL)には、基本的日常生活動作と手段的日常生活動作があります。

基本的日常生活動作(BADL)とは、一般的に日常生活動作(ADL)のことを指し、日常生活における基本的な「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のことを指します。

手段的日常生活動作(IADL)は、基本的日常生活動作(BADL)の次の段階を指します。

「掃除・料理・洗濯・買い物などの家事や交通機関の利用、電話対応などのコミュニケーション・シジョン、スケジュール調整、服薬管理、金銭管理、趣味」などの複雑な日常生活動作のことを指します。

基本的日常生活動作(BADL)が食事や更衣そのものの動作を指すことに対して、手段的日常生活動作(IADL)では、買い物へ行って食事の準備・調理・配膳を行い、食べて片付けること、季節や場所にふさわしい衣服を選んで、身だしなみを整えて着ることまで含まれます。

基本的日常生活動作(BADL)の評価は、3つに分かれ1つ目は食事・移動・整容・トイレ・入浴・歩行・階段・着替え・排便・排尿の10項目で構成されており、項目によって不能から自立までの2〜4段階に分けて評価します。点数が高いほど自立していることを表します。



2つ目は入浴、更衣、トイレの使用、移動、排便・排便、食事の6つの領域のADLに関して自立・介助の関係より、3つ目までの7段階の自立指標という総合判定を行います。

そして、3つ目は、地域包括ケアシステムにおける認知症の評価であり、21の質問から構成されており、その中に入浴、着替え、トイレ、身だしなみ、食事、移動の項目があります。できるから全介助までの4段階評価となっています。

以上のように、日常生活の上で当たり前に出来ていたことが、年を重ねることで出来ないことが増えてきます。ご自身に変化を感じた時には、早めに弊会へご相談ください。安心して暮らせる環境をご準備いたします。

